

科目名 (科目番号)	臨床医学総論 (呼吸器学)	教員名 佐藤 宜伯	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	肺循環と換気障害および血液ガス分析結果の異常値から呼吸器系疾患の病因、病態、症候、診断、治療などについて学ぶ。すなわち呼吸不全、感染性呼吸器疾患（かぜ症候群・細菌性肺炎・肺結核など）および生理学的には閉塞性換気障害を主徴とする気道閉塞性肺疾患（慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息など）や拘束性換気障害（間質性肺疾患など）の区別などについて検査データによる判読法などを学ぶと共に、その病態について学ぶ。さらに肺塞栓、肺高血圧や腫瘍性肺疾患などについても学ぶ。						
目的・目標	目的：人工呼吸、酸素療法の適応となる呼吸器疾患を理解する。 目標：①肺の解剖と機能を理解する、②呼吸の生理と呼吸不全の病態生理を理解する、③呼吸機能検査と血液ガス分析による病態解析を学習する、④その他の肺疾患を学習する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	呼吸器の構造と機能	到達目標：呼吸器の構造と機能について理解する 学習内容：呼吸器の構造と機能				
	2	感染症①	到達目標：かぜ症候群、肺炎について理解する 学習内容：かぜ症候群、肺炎、日和見感染症				
	3	感染症②	到達目標：肺結核、非結核性抗酸菌症、肺膿瘍について理解する 学習内容：肺結核、非結核性抗酸菌症、肺膿瘍				
	4	新生物①	到達目標：肺がん(手術含む)について理解する 学習内容：肺がん(手術含む)				
	5	新生物②	到達目標：転移性肺腫瘍、縦郭腫瘍、胸膜中皮腫について理解する 学習内容：転移性肺腫瘍、縦郭腫瘍、胸膜中皮腫				
	6	閉塞性肺疾患	到達目標：気管支喘息、閉塞性肺疾患(COPD)などの気道閉塞性肺疾患の病態とその治療を理解する。 学習内容：気管支喘息、閉塞性肺疾患(COPD)				
	7	拘束性肺疾患	到達目標：間質性肺疾患、じん肺などの拘束性換気障害の病態とその治療を理解する。 学習内容：間質性肺疾患、じん肺などの拘束性換気障害の病態とその治療				
	8	急性呼吸不全	到達目標：急性呼吸促拍症候群(ARDS)、新生児呼吸促拍症候群の病因、病態、症候、診断、治療を理解する。 学習内容：急性呼吸促拍症候群(ARDS)、新生児呼吸促拍症候群の病因、病態、症候、診断、治療				
	9	慢性呼吸不全①	到達目標：慢性呼吸不全の病因、病態、症候、診断、治療を理解する。 学習内容：慢性呼吸不全の病因、病態、症候、診断、治療				
	10	慢性呼吸不全②	到達目標：CO2ナルコーシス、原発性肺泡低換気症候群、肥満低換気症候群、睡眠時無呼吸症候群を理解する。 学習内容：CO2ナルコーシス、原発性肺泡低換気症候群、肥満低換気症候群、睡眠時無呼吸症候群				
	11	肺循環疾患	到達目標：肺循環疾患(心不全・肺水腫、肺動脈血拴塞栓症、肺高血圧症)について理解する 学習内容：肺循環疾患(心不全・肺水腫、肺動脈血拴塞栓症、肺高血圧症)について				
	12	その他の呼吸器疾患①	到達目標：サルコイドーシス、過敏性肺臓炎、胸膜炎について理解する 学習内容：サルコイドーシス、過敏性肺臓炎、胸膜炎について				
	13	その他の呼吸器疾患②	到達目標：気胸、気管支拡張症、無気肺について理解する 学習内容：気胸、気管支拡張症、無気肺について				
	14	その他の呼吸器疾患③	到達目標：胸部外傷、気管・気管支遺物、窒息、過換気症候群について理解する 学習内容：胸部外傷、気管・気管支遺物、窒息、過換気症候群について				
	15	まとめ	到達目標：各種呼吸器疾患の病態、検査、治療についてまとめる。 学習内容：各種呼吸器疾患の病態、検査、治療について				
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通：期末試験(100%)						
教科書	臨床工学講座 臨床医学総論(第2版)		篠原一彦		医歯薬出版		
参考図書	臨床工学技士標準テキスト(第4版)		小野哲章		金原出版		
教員からのメッセージ	配布資料とペグボードで補正をしながらの講義を行います。(教科書の該当する箇所では音声を流すことがあります) 病院で勤務した臨床工学技士がこの授業を担当します。オンライン授業で変更がある場合は、変更のシラバスを周知します。						